



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 2 日

上場会社名 アイカ工業株式会社 (コード番号：4206 東証・名証第 1 部)
 (URL <http://www.aica.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 渡 辺 修
 責任者役職・氏名 執行役員財務管理部担当 阿久根善裕 TEL：(052) 409-8261

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)

影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期の財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	74,181	4.7	7,731	0.2	7,860	0.5	4,731	8.4
18 年 3 月期第 3 四半期	70,829	2.1	7,743	3.1	7,822	3.6	4,363	1.6
(参考) 18 年 3 月期	96,486		10,900		10,971		6,128	

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 3 四半期	71 27	
18 年 3 月期第 3 四半期	65 72	
(参考) 18 年 3 月期	91 08	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資は増加し、雇用情勢の改善などにより個人消費も増加基調となるなど、景気は総じて堅調に推移いたしました。

住宅市場におきましては、個人所得の改善や団塊ジュニア世代の住宅取得が下支えとなり住宅着工件数は底堅く推移し、非住宅市場におきましては、公共投資は依然厳しいものの民間投資は景気回復を背景に堅調に推移いたしました。

このような状況にありまして当社グループは、環境配慮型商品や高意匠・高機能の商品開発に積極的に取り組むとともに、CS（顧客満足）向上にも努めました。また、原油価格をはじめとする資源価格の高騰に対処するため生産効率の向上、コスト削減、経費削減に努めるとともに商品への価格転嫁を図りましたが、原材料の値上がりを完全に吸収するには至らず利益を圧迫することとなりました。

各セグメント別の状況は次のとおりです。

（化成品セグメント）

超低VOC（揮発性有機化合物）品の水系タイプや弾性接着剤、天然の土を使用した塗壁材や国内生産設備の増強にともなう塗床材は伸張いたしました。当セグメントは度重なる石油化学原材料の値上がりを十分に吸収することができず収益を圧迫いたしました。

（建装材セグメント）

新柄で高い意匠性をもつメラミン化粧板が商業施設で多数採用されるとともに、環境配慮型の各種化粧合板が医療施設・老人保健施設・教育文化施設などの家具・什器・建具などに広く採用されました。また、壁装材商品は素材感を生かした商品が好評で販路を拡大することができました。

（住器建材セグメント）

不燃化粧材は高い意匠性、幅広いサイズ対応力、即納体制の確立が評価され、新築戸建住宅・新築マンションやリフォーム市場でも大きく売上げを伸ばすことができました。また、メラミン化粧板を使用したインテリア建材も高い意匠性が評価され堅調に推移いたしました。

（電子セグメント）

プリント配線板は、高速伝送・電磁波障害対策分野で、一貫した受注・生産対応でユーザーニーズに応えてまいりました結果、情報通信・半導体関連などの分野で高多層板の売上げを伸ばすことができました。また、電子材料が光学材料用の樹脂分野に採用されました。

（その他セグメント）

有機微粒子は、回復基調となりましたものの化粧品向けが苦戦し、また、受託加工品である保存剤も低調でした。

このような結果、当第3四半期（平成18年4月1日から平成18年12月31日まで）の当社グループの売上高は74,181百万円（前年同期比4.7%増）、経常利益は7,860百万円（前年同期比0.5%増）、四半期純利益は4,731百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 た り 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 3 月 期 第 3 四 半 期	85,726	62,752	72.5	936 48
18 年 3 月 期 第 3 四 半 期	84,400	57,852	68.5	871 37
（参考）18 年 3 月 期	87,640	59,779	68.2	899 20

（注）18年3月期第3四半期及び18年3月期の純資産は少数株主持分を含めておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は以下の通りであります。

資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,913百万円減少し、85,726百万円となりました。主な要因は、「現金及び預金」が5,338百万円減少し、「受取手形及び売掛金」が2,388百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ4,337百万円減少し、22,974百万円となりました。主な要因は、「短期借入金」が3,095百万円減少したことと、法人税等の納付により「未払法人税等」が1,661百万円減少したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,423百万円増加し、62,752百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加2,924百万円と、「その他有価証券評価差額金」の減少527百万円の差引額によるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.3ポイント上昇し、72.5%となりました。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 3 月 期 第 3 四 半 期	2,897	3,366	4,859	11,996
18 年 3 月 期 第 3 四 半 期	1,123	2,235	1,480	14,633
（参考）18 年 3 月 期	4,998	3,415	1,479	17,334

[連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報等]

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益7,722百万円、減価償却費1,642百万円等から法人税等の支払額4,420百万円、売上債権の増減額等を差引き2,897百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、固定資産の取得などにより3,366百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、短期借入金の返済及び配当金の支払いなどから4,859百万円となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末（平成18年3月31日）と比べ、5,338百万円減少し、当第3四半期末残高は11,996百万円となりました。

【参 考】

平成 19 年 3 月期の連結業績予想

(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	101,300	11,400	6,500

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 97 円 91 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、平成 18 年 11 月 10 日発表の業績予想数値を変更しておりません。

(業績予想の利用に関するご注意)

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

・(要約) 四半期連結財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当 第 3 四 半 期 (平成18年12月31日現在)		前 第 3 四 半 期 (平成17年12月31日現在)		増 減		(参考) 前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増 減 率	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%		%		%
流 動 資 産								
現金及び預金	11,996		14,633		2,637	18.0	17,334	
受取手形及び売掛金	37,681		35,917		1,764	4.9	35,292	
たな卸資産	5,366		4,925		441	9.0	4,769	
その他	2,113		1,640		473	28.8	2,004	
流動資産計	57,158	66.7	57,117	67.7	40	0.1	59,401	67.8
固 定 資 産								
有形固定資産	16,236	18.9	15,986	18.9	250	1.6	16,013	18.3
無形固定資産	2,576	3.0	2,113	2.5	463	21.9	2,409	2.7
投資その他の資産	9,754	11.4	9,183	10.9	570	6.2	9,815	11.2
固定資産計	28,568	33.3	27,283	32.3	1,284	4.7	28,238	32.2
資 産 合 計	85,726	100.0	84,400	100.0	1,325	1.6	87,640	100.0
(負 債 の 部)								
流 動 負 債								
支払手形及び買掛金	17,334		16,866		468	2.8	15,964	
短期借入金	412		3,496		3,083	88.2	3,508	
その他	3,591		3,783		191	5.1	5,836	
流動負債計	21,338	24.9	24,145	28.6	2,806	11.6	25,309	28.9
固 定 負 債								
退職給付引当金	347		369		21	5.8	369	
繰延税金負債	751		1,040		288	27.8	1,139	
その他	535		472		63	13.4	492	
固定負債計	1,635	1.9	1,882	2.3	247	13.1	2,002	2.3
負 債 合 計	22,974	26.8	26,028	30.9	3,054	11.7	27,311	31.2
(純資産の部)								
株 主 資 本								
資本金	9,891	11.5	-	-	-	-	-	-
資本剰余金	13,744	16.0	-	-	-	-	-	-
利益剰余金	39,314	45.9	-	-	-	-	-	-
自己株式	2,917	3.4	-	-	-	-	-	-
株主資本合計	60,033	70.0	-	-	-	-	-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等								
その他有価証券評価差額金	2,113	2.5	-	-	-	-	-	-
繰延ヘッジ損益	0	0.0	-	-	-	-	-	-
為替換算調整勘定	23	0.0	-	-	-	-	-	-
評価・換算差額等合計	2,137	2.5	-	-	-	-	-	-
少数株主持分	581	0.7	-	-	-	-	-	-
純 資 産 合 計	62,752	73.2	-	-	-	-	-	-
負 債 純 資 産 合 計	85,726	100.0	-	-	-	-	-	-
(少 数 株 主 持 分)								
少数株主持分	-	-	520	0.6	-	-	549	0.6
(資 本 の 部)								
資本金	-	-	9,891	11.7	-	-	9,891	11.3
資本剰余金	-	-	13,744	16.3	-	-	13,744	15.7
利益剰余金	-	-	34,625	41.0	-	-	36,390	41.5
その他有価証券評価差額金	-	-	2,511	3.0	-	-	2,640	3.0
為替換算調整勘定	-	-	9	0.0	-	-	25	0.0
自己株式	-	-	2,911	3.5	-	-	2,913	3.3
資 本 合 計	-	-	57,852	68.5	-	-	59,779	68.2
負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	-	-	84,400	100.0	-	-	87,640	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当 第 3 四 半 期		前 第 3 四 半 期		増 減		(参 考)	
	自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日		自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日				前 連 結 会 計 年 度 自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売 上 高	74,181	100.0	70,829	100.0	3,351	4.7	96,486	100.0
売 上 原 価	53,768	72.5	51,075	72.1	2,693	5.3	69,511	72.0
売 上 総 利 益	20,413	27.5	19,754	27.9	658	3.3	26,974	28.0
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	12,682	17.1	12,011	17.0	671	5.6	16,073	16.7
営 業 利 益	7,731	10.4	7,743	10.9	12	0.2	10,900	11.3
営 業 外 収 益	272	0.4	219	0.3	52	24.2	255	0.3
営 業 外 費 用	142	0.2	140	0.2	2	1.6	184	0.2
経 常 利 益	7,860	10.6	7,822	11.0	38	0.5	10,971	11.4
特 別 利 益	61	0.1	59	0.1	2	3.9	211	0.2
特 別 損 失	199	0.3	674	0.9	474	70.4	704	0.7
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	7,722	10.4	7,206	10.2	515	7.2	10,479	10.9
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	2,642	3.5	2,541	3.6	100	4.0	4,373	4.5
法 人 税 等 調 整 額	280	0.4	220	0.3	59	27.1	110	0.1
少 数 株 主 利 益	67	0.1	81	0.1	13	16.4	88	0.1
四 半 期 (当 期) 純 利 益	4,731	6.4	4,363	6.2	368	8.4	6,128	6.4

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円未満切捨)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
平成 18 年 3 月 31 日残高	9,891	13,744	36,390	2,913	57,113
当四半期中の変動額					
剰余金の配当(注1)			1,726		1,726
役員賞与金(注2)			81		81
四半期純利益			4,731		4,731
自己株式の取得				4	4
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計		0	2,924	4	2,920
平成 18 年 12 月 31 日残高	9,891	13,744	39,314	2,917	60,033

	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産合 計
	その他有価 証券評価 差 額 金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	2,640		25	2,666	549	60,328
当四半期中の変動額						
剰余金の配当(注1)						1,726
役員賞与金(注2)						81
四半期純利益						4,731
自己株式の取得						4
自己株式の処分						0
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)	527	0	2	528	31	496
当四半期中の変動額合計	527	0	2	528	31	2,423
平成 18 年 12 月 31 日残高	2,113	0	23	2,137	581	62,752

(注1) 剰余金の配当は、平成 18 年 6 月の第 106 期定時株主総会における利益処分及び中間配当金の支払によるものであります。

(注2) 役員賞与金は、平成 18 年 6 月の第 106 期定時株主総会における利益処分によるものであります。

(4) (要約) 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別		(参考)	
	前第3四半期		前連結会計年度	
	自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日		自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日	
(資本剰余金の部)				
.資本剰余金期首残高		13,744		13,744
.資本剰余金増加高				
自己株式処分差益	0	0	0	0
.資本剰余金四半期末(期末)残高		13,744		13,744
(利益剰余金の部)				
.利益剰余金期首残高		31,798		31,798
.利益剰余金増加高				
四半期(当期)純利益	4,363	4,363	6,128	6,128
.利益剰余金減少高				
配 当 金	1,460		1,460	
役 員 賞 与	76	1,536	76	1,536
.利益剰余金四半期末(期末)残高		34,625		36,390

(5) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨)

科 目	期 別	当 第 3 四 半 期	前 第 3 四 半 期	(参 考)
		自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日	自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日	前連結会計年度 自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		7,722	7,206	10,479
減価償却費		1,642	1,455	1,986
減損損失		-	558	558
売上債権の増減額(増加:)		2,388	3,922	3,278
棚卸資産の増減額(増加:)		620	364	183
仕入債務の増減額(減少:)		1,391	757	177
その他		504	343	21
小 計		7,243	5,347	9,362
法人税等の支払額		4,420	4,262	4,403
その他		73	37	40
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,897	1,123	4,998
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		1,595	1,375	2,140
有形固定資産の売却による収入		79	286	286
無形固定資産の取得による支出		850	974	1,078
有価証券の取得による支出			400	400
有価証券の売却等による収入			900	900
投資有価証券の取得による支出		869	768	1,271
投資有価証券の売却等による収入			106	374
その他		130	10	85
投資活動によるキャッシュ・フロー		3,366	2,235	3,415
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		3,095	34	20
配当金の支払額		1,726	1,460	1,460
その他		37	53	39
財務活動によるキャッシュ・フロー		4,859	1,480	1,479
現金及び現金同等物に係る換算差額		10	36	41
現金及び現金同等物の増減額(減少:)		5,338	2,555	145
現金及び現金同等物の期首残高		17,334	17,189	17,189
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		11,996	14,633	17,334

(6) 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年12月31日) (単位:百万円)

	化成品	建装材	住器建材	電 子	そ の 他	計	消去又は全社	連 結
・売上高及び営業損益 売 上 高								
(1)外部顧客に対する売上高	20,358	22,195	24,742	5,413	1,472	74,181		74,181
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,106	3,309				5,416	(5,416)	
計	22,464	25,505	24,742	5,413	1,472	79,597	(5,416)	74,181
営業費用	21,160	20,988	21,982	4,964	1,270	70,367	(3,916)	66,450
営業利益	1,303	4,516	2,759	448	202	9,230	(1,499)	7,731

前第3四半期連結会計期間(自平成17年4月1日至平成17年12月31日) (単位:百万円)

	化成品	建装材	住器建材	電 子	そ の 他	計	消去又は全社	連 結
・売上高及び営業損益 売 上 高								
(1)外部顧客に対する売上高	20,078	21,109	23,804	4,166	1,671	70,829		70,829
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,896	2,748				4,645	(4,645)	
計	21,975	23,857	23,804	4,166	1,671	75,475	(4,645)	70,829
営業費用	20,524	19,466	21,061	3,801	1,537	66,391	(3,305)	63,086
営業利益	1,450	4,391	2,743	364	133	9,083	(1,340)	7,743

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、製品の種類、販売市場等を勘案し行っており、各事業区分の主要製品は次のとおりであります。

化 成 品 外装・内装仕上塗材、塗床・壁材、各種接着剤

建 装 材 メラミン化粧板、化粧合板

住器建材 玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

電 子 プリント配線板、電子システム商品、電子材料

そ の 他 保存剤、他

2. 当第3四半期連結会計期間及び前第3四半期連結会計期間における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、1,499百万円及び1,338百万円であり、その主なものは、一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。